

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年5月10日

上場会社名 株式会社タカトリ

上場取引所 大

コード番号 6338

URL <http://www.takatori-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 吉郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大西 正純

TEL 0744-24-8580

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の業績（平成24年10月1日～平成25年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	2,902	△27.9	△214	—	△47	—	△29	—
24年9月期第2四半期	4,026	13.5	148	△21.2	176	△20.1	83	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	△5.40	—
24年9月期第2四半期	15.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	7,786	4,582	58.8
24年9月期	9,020	4,654	51.6

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 4,582百万円 24年9月期 4,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	8.50	—	8.50	17.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期（予想）	—	—	—	8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成25年9月期の業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,020	△3.8	567	82.5	744	93.4	446	—	81.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年9月期2Q	5,491,490株	24年9月期	5,491,490株
25年9月期2Q	31,042株	24年9月期	30,992株
25年9月期2Q	5,460,488株	24年9月期2Q	5,460,564株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国では雇用問題の改善、財政出動及び金融緩和策に支えられ株価が回復し景気が上昇基調に推移している反面、一旦回避した「財政の壁」と言われる大幅な緊縮財政に対する問題への懸念材料が存在しております。また、欧州諸国での財政問題の長期化や新興国での景気減速など下振れリスクが継続していることから、市況回復への先行きに慎重な見方が残る状況にあります。

一方、国内経済は、震災からの復興需要や政権交代による経済への期待感から、円安や株価が急騰するなど財政の建て直しに期待が高まりつつあるものの、アジア諸国との外交問題や世界経済の鈍化の影響により、企業をとりまく事業環境は依然として停滞感を払拭しきれない状況の中で推移しております。

このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界においては、スマートフォン（高機能携帯電話）やタブレット端末製品等のデバイスが牽引し一部では堅調さがみられたものの、デジタル家電製品は一定して落ち込みが大きく厳しい状況が続きました。また、LED関連製品においては、企業の設備投資環境は回復せず抑制する動きがみられました。

このような状況の中、電子機器事業及び繊維機器事業は低調に推移いたしました。

損益面につきましては、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めてまいりましたが、当社の会計基準に則り、たな卸資産評価損の計上及び競争激化に伴う採算の悪化等により、四半期純損失を計上することとなりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は29億2百万円（前年同四半期比27.9%減）、営業損失は2億14百万円（前年同四半期は営業利益1億48百万円）、経常損失は47百万円（前年同四半期は経常利益1億76百万円）、四半期純損失は29百万円（前年同四半期は四半期純利益83百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (電子機器事業)

液晶製造機器では、スマートフォン（高機能携帯電話）やタブレットパソコン等の高機能携帯端末市場の拡大が継続していることから、国内大手液晶パネルメーカー、海外大手液晶パネルメーカー及び海外のEMS（受託生産企業）向けの小型液晶パネル用偏光板貼り付け機及びその周辺機器の需要が堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は大幅に増加いたしました。

半導体製造機器では、省エネルギーで注目を集めているパワー半導体メーカーや車載用ICチップメーカーからの装置需要は比較的堅調に推移いたしました。前年同四半期において装置販売に寄与したLEDメーカーや海外のスマートフォン（高機能携帯電話）等の高機能携帯端末関連の装置が当四半期は低調に推移したことから、販売額は減少いたしました。

MWS（マルチワイヤーソー）では、LED関連製品のサファイア市場向けの設備投資において、海外を中心とした受注残が下支えとなり装置販売に寄与いたしました。また、その他の素材用途への装置についても、多少の牽引役となり売上に貢献してはいたしましたが、アジア諸国におけるサファイア市場に対する設備投資の減速の影響が大きく低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は26億90百万円（前年同四半期比29.3%減）、セグメント損失1億96百万円（前年同四半期はセグメント利益2億27百万円）となりました。

#### (繊維機器事業)

アパレル業界においては、長引く経済不況の影響で設備の更新増設が先送りされている状況が依然として続いており、厳しい環境の中で推移しております。しかしながら、海外での設備投資の回復の兆しが僅かながら見え始めている状態が継続している状況でもあります。

このような状況の中、販売額は若干減少いたしました。

その結果、売上高は2億11百万円（前年同四半期比5.2%減）、セグメント損失17百万円（前年同四半期はセグメント損失79百万円）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における「資産合計」は、売上債権及び新工場完成により建物等の有形固定資産が増加いたしました。現金預金が減少したこと等により、前期末に比べ12億33百万円減少し77億86百万円となりました。

「負債合計」は、買掛金及び前受金が減少したこと等により、前期末に比べ11億61百万円減少し32億4百万円となりました。

「純資産合計」は、四半期純損失を計上したこと及び別途積立金の一部を取り崩し配当金を支払ったこと等により、前期末に比べ72百万円減少し45億82百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、6億94百万円（前年同四半期累計期間末残高3億46百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加5億61百万円、仕入債務の減少5億5百万円及び前受金の減少4億46百万円があったこと等により13億12百万円のキャッシュ・アウト（前年同四半期は4億38百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の純減による収入10億11百万円及び有形固定資産の取得による支出11億11百万円があったこと等により2億10百万円のキャッシュ・アウト（前年同四半期は3億45百万円のキャッシュ・イン）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出1億20百万円があったこと等により1億93百万円のキャッシュ・アウト（前年同四半期は2億11百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期第2四半期累計期間（平成24年10月1日から平成25年3月31日）の業績予想につきましては、平成25年4月25日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成24年11月9日に公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。

なお、当中間配当につきましては、現時点での業績等を総合的に勘案いたしました結果、誠に遺憾ではございませんが、無配とさせていただきます。詳細につきましては、本日別途開示いたします「剰余金の配当（中間配当）の見送りに関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,812,903	1,094,536
受取手形及び売掛金	1,429,834	1,991,593
製品	275,727	46,114
仕掛品	522,930	470,513
原材料及び貯蔵品	131,270	140,196
その他	576,557	680,814
流動資産合計	6,749,224	4,423,768
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	731,772	1,581,903
土地	781,479	781,479
その他(純額)	241,399	448,530
有形固定資産合計	1,754,651	2,811,913
無形固定資産	18,018	16,219
投資その他の資産		
関係会社株式	345,679	345,679
その他	153,153	189,338
投資その他の資産合計	498,832	535,018
固定資産合計	2,271,502	3,363,151
資産合計	9,020,726	7,786,920
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,792,735	1,287,725
短期借入金	935,941	65,319
1年内返済予定の長期借入金	241,152	414,744
未払法人税等	13,613	4,594
賞与引当金	121,757	90,393
その他	732,336	278,071
流動負債合計	3,837,536	2,140,849
固定負債		
長期借入金	346,585	902,417
役員退職慰労引当金	79,810	—
資産除去債務	22,221	22,449
その他	80,502	139,180
固定負債合計	529,119	1,064,046
負債合計	4,366,655	3,204,896

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,353,741	2,277,850
自己株式	△17,283	△17,308
株主資本合計	4,652,010	4,576,094
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,061	5,930
評価・換算差額等合計	2,061	5,930
純資産合計	4,654,071	4,582,024
負債純資産合計	9,020,726	7,786,920

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	4,026,856	2,902,570
売上原価	3,049,229	2,404,327
売上総利益	977,626	498,242
販売費及び一般管理費	829,505	713,024
営業利益又は営業損失 (△)	148,120	△214,781
営業外収益		
受取利息	2,425	1,605
為替差益	5,007	9,825
権利金収入	10,000	10,000
補助金収入	450	135,295
その他	13,634	17,410
営業外収益合計	31,517	174,136
営業外費用		
支払利息	2,066	2,277
租税公課	996	972
減価償却費	240	3,395
その他	311	472
営業外費用合計	3,614	7,117
経常利益又は経常損失 (△)	176,023	△47,763
特別利益		
投資有価証券売却益	899	—
特別利益合計	899	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	176,923	△47,763
法人税、住民税及び事業税	1,647	1,646
法人税等調整額	91,533	△19,932
法人税等合計	93,180	△18,286
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	83,742	△29,477



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	176,923	△47,763
減価償却費	75,931	86,746
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△245,184	△31,364
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,190	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,134	△79,810
受取利息及び受取配当金	△2,500	△1,680
支払利息	2,066	2,277
投資有価証券売却損益 (△は益)	△899	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△99,418	△561,759
たな卸資産の増減額 (△は増加)	600,216	273,104
仕入債務の増減額 (△は減少)	△711,575	△505,010
前受金の増減額 (△は減少)	△7,964	△446,563
その他	158,137	8,779
小計	△91,324	△1,303,042
利息及び配当金の受取額	4,430	3,852
利息の支払額	△1,886	△2,169
法人税等の支払額	△349,643	△10,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	△438,424	△1,312,025
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,401,320	△390,413
定期預金の払戻による収入	1,840,000	1,402,080
有形固定資産の取得による支出	△86,713	△1,111,521
無形固定資産の取得による支出	△6,570	△2,271
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,199
投資有価証券の売却による収入	900	—
保険積立金の積立による支出	—	△107,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	345,096	△210,421
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△124,687	△20,622
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△295,306	△120,576
リース債務の返済による支出	△4,749	△6,535
自己株式の取得による支出	—	△24
配当金の支払額	△86,642	△46,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,385	△193,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△304,704	△1,716,287
現金及び現金同等物の期首残高	650,874	2,410,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	346,170	694,536

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの名称	前四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		当四半期 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)		前事業年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
電子機器事業	3,876,414	94.5	2,345,420	91.3	7,407,265	94.8
繊維機器事業	223,637	5.5	223,459	8.7	402,964	5.2
合計	4,100,051	100.0	2,568,879	100.0	7,810,229	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

セグメントの名称	前四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		当四半期 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)		前事業年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	3,530,520	3,098,935	1,568,440	1,014,022	6,699,629	2,136,192
繊維機器事業	191,084	40,315	180,058	73,915	435,913	105,815
合計	3,721,605	3,139,250	1,748,498	1,087,937	7,135,542	2,242,008

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

セグメントの名称	前四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		当四半期 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)		前事業年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
電子機器事業	3,803,219	94.4	2,690,611	92.7	7,935,071	95.2
繊維機器事業	223,637	5.6	211,959	7.3	402,964	4.8
合計	4,026,856	100.0	2,902,570	100.0	8,338,035	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、( )内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		当四半期 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)		前事業年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
アジア・オセアニア	2,429,408	87.2	1,640,080	92.4	5,697,475	91.5
北米	240,592	8.6	65,865	3.7	341,560	5.5
欧州	115,737	4.2	70,020	3.9	189,816	3.0
その他の地域	—	—	—	—	350	0.0
合計	2,785,738 (69.2%)	100.0	1,775,966 (61.2%)	100.0	6,229,203 (74.7%)	100.0